

近代行政機関設置の黎明期に置かれた県庁の記憶

かいふちきさらづけんしせき
貝渚木更津県史蹟



明治4年(1871)7月に^{はいはんちけん}廃藩置県が行われ、^{かずさ あわ}上総・安房地域を^{とうごう}統合した木更津県が置かれました。庁舎は、貝渚にあった^{さくらいはんしゆたきわきのぶとし}旧桜井藩主滝脇信敏の屋敷があてられました。初代木更津県^{ごんれい}権令の^{しばはらやわら}柴原和は^{めいじいしん}明治維新に^{しさく}ふさわしい施策を行い、後の千葉県誕生の基礎を築きました。この木更津県が置かれていた時期は、同年11月から明治6年(1873)6月までの2年間です。

市指定文化財：記念物（史跡）
指定年月日：昭和41年4月22日
所在地：木更津市貝渚3-439-11
所有者：木更津市
員数：960.53㎡
公開・非公開の別：公開
